

2021/09/19

『主を待ち望む』 詩篇 130 篇 1-8 節

■主を待つとは

「主よ。深い淵から、私はあなたを呼び求めます。
主よ。私の声を聞いてください。私の願いの声に耳を傾けてください。
主よ。あなたがもし、不義に目を留められるなら、主よ、だれが御前に立ちえましよう。
しかし、あなたが赦してくださるからこそあなたは人に恐れられます。
私は主を待ち望みます。私のたましいは、待ち望みます。私は主のみことばを待ちます。
私のたましいは、夜回りが夜明けを待つのにまさり、まことに、夜回りが夜明けを待つのにまさって、主を待ちます。
イスラエルよ。主を待て。主には恵みがあり、豊かな贖いがある。
主は、すべての不義からイスラエルを贖い出される。」（詩篇 130:1-8）

「主を待つ」ということは、「今はまだ主を持っていない」ということを意味します。

多くの人が主を待ち望まないのは、自分は神を所有していると思っているからです。つまり、神だったらこうするはずだ、神だったらこう考えるはずだ、と神のことはわかっていると思っているのです。こういう人たちは、自分に問題が起こると、なぜこのような問題が起こるのかと、神に向かってつぶやきます。しかし、そのような神は自分で作った神であり、まことの神ではありません。

私たちは神を持っていません。だから、主を待ち望むのです。

人は神のいのちによって造られ、神という土台の上に建てられているのだから、神と共にいるのではないかと考える人もいることでしょう。しかし、私たちは、神と共にいて、神に捕らえられているのに、神がどのような方かを知りません。そこで、神がどのような方か知りたいと願う、これが、「主を待ち望む」ということです。

では、主を待ち望むということで、人は、どのようなことを知りたいと願っているのでしょうか。

■赦しを待ち望め

「深い淵から、私はあなたを呼び求めます。」（詩篇 130:1）

私たちが待ち望んでいるのは赦しです。深い淵とは「絶望」を意味します。それは不義、すなわち罪のことです。

私たちは皆、自分が罪深い者であることを知っています。誰もが、自分の罪深さゆえに、神の御前に立つことができないという絶望の中にいます。「どうか私をあなたの御前に立てるようにしてください」と求めるということは、赦しを求めることなのです。

イエス・キリストは、私たちの罪を赦してくださいます。ところが、そのことを知っても、多くの人になかなか赦しを受け取ることができません。

神の赦しを体験すると、平安を得、さらに神との深い和解を待ち望むようになります。あなたは、神の赦しを受け取っているのでしょうか。

また、御前に立つことを求めるとは、神のさばきを待ち望むということでもあります。多くの人は、神のさばきを誤解しています。さばきとは判決を下すことです。

パウロは、「自分は神の御心がわかっていながら、それを行うことができない」と告白しました。つまり、心を神に向けたいけれど向けられない、自分ではどうすることもできないという苦しみの中にいたということです。心を神に向けられない、これが罪です。聖書が教える罪とは、心を神に向けることができない状態のことであり、これを「神との断絶」と言います。罪とは、神と断絶した状態のことです。

神と断絶している不安、死の恐怖によって、私たちはどうしても見える安心に心を向けてしまいます。こうして、見える安心をむさぼる過程で、様々な罪の行為が生じるのです。罪の行為とは、罪の状態があって起きるものです。この罪の状態が「深い淵」と言われているのです。

人は皆、自分が罪深い人間だということを知っています。この世の物差しでは、罪には罰がありますから、人は皆、自分が死に値するものであると知っていて、神のさばきを恐れています。しかし、神のさばきは、あなたの罪を赦します。「あなたは死に値しない」という宣言、これが、神が下す判決なのです。つまり、「あなたの罪は赦された」と宣言なさるのです。神は必ずこのさばきを下してくださいますから、私たちは、神のさばきを待ち望むのです。

神は正義を行われます。神の正義は、あなたは死に値しないという宣言です。しかし、罪には罰があるものだと思っていると、神を待ち望むことはできません。神のことはなんとなくわかっているけれど、赦された経験が十分ないと、人は神を待ち望むのです。それによって真に神に愛されていることを経験できるようになります。この体験が私たちを変えてくれます。

■主の言葉を待ち望め

どのような問題も、神の言葉に解決があります。主を待ち望むとは主の言葉を待つことです。

聖書は、ある人は手、ある人は口というように、一人一人をキリストの体の部分にたとえ、一人一人に神の役割があると教えています。あなたは、自分は何をするために生きるのか、自分の役割を神に問うているのでしょうか。神は、目標がはっきりしないような生き方をするなど語っておられます。神は私たちにビジョンを与えてくださいます。あなたはそのことを神に祈って、神の言葉を待ち望んで生きているのでしょうか。神の言葉を聞こうとせず、自分が何をしたいかということだけで生きていないのでしょうか。

何かを選択するという事は、何かを犠牲にするという事です。私たちはすべてを選択できる可能性を持っています。しかし、すべてを選択できるわけではありません。何かを選択するためには、何かを捨てなければなりません。あなたは、自分の行くべき道を神に聞いて定め、捨てるべきものは捨てるという生き方をしているのでしょうか。

神に聞かず、自分で勝手に決めて生きることは、偶像礼拝です。自分はこう思うと言って生きていくことは、自分の神を造るのと同じです。それは、あなたの神を勝手に所有したことです。

私たちは神を所有してはいません。神が土台にいらっしゃいますが、神のことはわかりません。だから、神の言葉を待ち望むのです。神の言葉に答えがあるからです。このようにして、神と私たちとの関係が築かれていきます。

これは、人間同士の関係にも同じことが言えます。待つことで相手を深く知ることができるようになり、関係を築くことができるのです。

■強くされる

私たちが神を待ち望むとき、神もまた、「主を待て」と言われます。なぜすぐに答えをくださらないのでしょうか。それは、私たちが強くするためです。人は、目標を持ち、待っているときのほうが強いのです。

神は、答えを与えないと言っておられるのではありません。必ず与えてくださいます。しかし、その前に「待て」と言われるのです。それは、待つことによって、忍耐が生じるからです。

「私たちは、この望みによって救われているのです。目に見える望みは、望みではありません。だれでも目で見ていることを、どうしてさらに望むでしょう。もしまだ見ていないものを望んでいるのなら、私たちは、忍耐をもって熱心に待ちます。」

(ローマ 8:24-25)

忍耐が生じると希望が生まれます。希望は、忍耐からしか生まれません。

「忍耐が練られた品性を生み出し、練られた品性が希望を生み出すと知っているからです。この希望は失望に終わることがありません。なぜなら、私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです。」(ローマ 5:4-5)

神を待つという忍耐を通して生まれた希望、それが信仰です。つまり、忍耐によって希望が生まれ、信仰が育つのです。こうして私たちは強くされるのです。

「ですから、あなたがたの確信を投げ捨ててはなりません。それは大きな報いをもたらすものなのです。あなたがたが神のみこころを行って、約束のものを手に入れるために必要なのは忍耐です。「もうしばらくすれば、来るべき方が来られる。おそく

なることはない。わたしの義人は信仰によって生きる。もし、恐れ退くなら、わたしのこころは彼を喜ばない。」私たちは、恐れ退いて滅びる者ではなく、信じていのちを保つ者です。信仰は望んでいる事がらを保証し、目に見えないものを確信させるものです。」（ヘブル 10:35-11:1）

神は「待て」と言われますが、「遅くなることはない」と、必ず答えることを約束しておられます。「信じていのちを保つ」とは、神を待ち望んでいるその間に、私たちがすでに持っている永遠のいのちをさらに豊かにするということです。私たちは、待つことによって、持っていなかったものを持つようになり、体験していなかったことを実際に体験できるようになるのです。

■神の愛を知る

「イスラエルよ。主を待て。主には恵みがあり、豊かな贖いがある。主は、すべての不義からイスラエルを贖い出される。」（詩篇 130:7-8）

神が下さる答え、それは、「不義から贖い出される」、すなわち、「神はこれほどあなたを愛している」と知るようになることです。これが神のさばきの体験です。自分は死に値すると思っていたのが、罪が赦されるという体験をするのです。だから、罪を言い表すように聖書は勧めています。

神を待ち望むことによってこの体験をし、私たちは、自分は何のために生れて来たのかを知ります。それは、愛されるために生まれて来たということです。神は罰を与えるために人を造ったのではありません。愛するものを造ったのです。あなたはこれを必ず知るようになります。

このことを通して「私は決して見捨てられることはない」「神はわたしと共におられ、私は神と共に生きていく」ということを真に知るようになります。それが、「不義から贖い出される」ということです。

この経験があなたに平安を与えます。神の計画はあなたに平安を与える計画です。平安とは安息です。神は私たちに安息の地に導かれます。これが神の約束です。神の約束を待ち望みましょう。